

グランド・オープニングス in 津南高校 Grand Openings in Tsunan High School

8月29日火曜日

参加アーティスト、荒川医（日本）、ユタ・コータ（ドイツ）、ジェイ・サンダース（アメリカ）、エミリー・サンドブラッド（スウェーデン）、ステファン・チェレプニン（アメリカ）、他特別ゲストあり

作品コンセプト

すでにグルジアのトビリシ、アメリカのニューヨークで行われた多方向型芸術パフォーマンス「グランド・オープニングス」が津南町にやってきます。200人の高校生たちと「移り変わるアイデンティティ」をテーマに予測出来ないパフォーマンスを発表します。

『観客が席に着くと、そこでは工事が始まっていて、銀色の板や、銀色のカーテンがあちこちに取り付けられてました。（あるパフォーマーは）スウェーデン語の歌を彼女の家族と歌ったり、ある人はノイズ音楽を演奏したり、人々はメガホンを持って歩きまわって、それらはパフォーマンスの一部だとわかるけど、けしてどこかにプログラムが載っているわけではない。そこでは、まるでダダのパフォーマンスのように、異なったスペース、異なったレベルのスペクタクル（光景）が、次々と決裂、変化していきます。私達は映像の前に座っているけれど、同時にそれは映画館などの映像空間ではなく、私達はパフォーマーが歌っているのを目撃するけれど、それは既存のコンサートではない、、、（グランド・オープニングスは）次に何が起こるか予想出来ない感覚を伴っています。』

（アートフォーラム・インターナショナル、2006年1月号より、本年度のホイットニー・ビエンナーレのキュレーター、クリスシー・イリスのインタビューより抜粋。）